

平成24年 労働者死傷病報告受理件数表

平成25年3月末確定
群馬労働局

業種別	署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
製造業		118	1	52	1	22	39	7	2	4	-2
	食料品製造業	31	290	6	223	6	12	2	751	760	-9
鉱業		1							1		1
		1				1			2	3	-1
建設業		1	1	1	1	1			5	4	1
		65	69	19	63	20	18	11	265	249	16
木造家屋等建築工事		9	17	9	15	7	3	2	62	54	8
		1	1		1				3	2 (1)	1 (-1)
交通運輸・貨物取扱業		63	132	9	75	5	6	2	292	309	-17
						1	1		2	1	1
林業		7	3	9		7	6	1	33	38	-5
									5	6	-1
上記以外の事業		204	326	65	146	57	26	37	861	840	21
	卸売業・小売業	65	4	21	32	9	6	7	230	252	-22
通信業	18	24	9	9	3	4	1	68	61	7	
医療保健業・ 社会福祉施設	39	43	19	22	11	4	7	145	140	5	
旅館・ホテル業	2	13			9			4	28	35	-7
計		3	8	1	3	2	1		18	17 (1)	1 (-1)
		458	820	154	507	112	95	58	2,204	2,199	5
前年同期		5 (1)	5	1	4	1		1	17 (1)		
		456 (1)	801	171	502	74	112	83	2,199 (1)		
増減		-2 (-1)	3		-1	1	1	-1	1 (-1)		
		2 (-1)	19	-17	5	38	-17	-25	5 (-1)		

災害の種類別

災害の種類別・署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
転倒災害	108	160	26	94	20	18	14	440	1	-1
食料品加工用機械災害	5	24	4	5	3	3	1	45	451	-11
建設機械災害	8	6	1	1	1	4	1	27	35	10
建設機械災害				6	1			1	2	-1
クレーン・玉掛災害	9	19	1	6	1	4	1	27	29	-2
外国人の災害	4	39	4	15	3	2	2	51	1	-1
外国人の災害				43	1	1	1	93	44	7
公共工事の災害	4	1	1					2	65	28
公共工事の災害	10	7	3	4	2	4	1	31	2	2
交通労働災害	1	5			1			7	32	-1
交通労働災害	37	46	8	29	9	3	5	137	4	3
								143	143	-6

- 注1 この表は、死亡及び休業4日以上労働者死傷病報告を集計しています。
 注2 各項目の下欄は死傷者数合計、上欄は死亡者数で下欄の数の内数です。
 注3 前橋署欄は、伊勢崎分庁舎と合算した集計です。
 注4 下の表は災害の種類別で、特に項目を設定して集計しています。
 注5 各項目の（ ）内は、脳・心臓疾患、精神疾患の死亡者数で内数です。

平成24年死亡災害事例（建設業）

（脳・心臓疾患、精神障害を除く）

平成25年3月末確定
群馬労働局

番号	発生月 発生時間帯 店社人数・現場人数	年齢 性別 職種	災害のあらまし	発注者	事故の 型別	起因物別	署別
1	8月 14時頃 15人・6人	10歳代 男 雑工	体育館の耐震工事のため間仕切りのブロック壁をエアピックハンマーではつっていたところ、突然間仕切りのブロック壁が倒壊し、近くでガラ（はつりカス）の片付け作業をしていた被災者がその下敷きになり負傷し、緊急搬送されたが、翌日9時20分に脳挫傷などにより死亡した。	市	崩壊・倒壊	建築物・構築物	桐生
2	9月 16時頃 6人・6人	70歳代 男 解体工	木造2階建て住宅の解体作業現場において、解体用機械を用いて作業中、バランスを崩した機械が後ろ向きに倒れ、近くにいた被災者がアームの下敷きになり死亡した。	民間	はさまれ・巻き込まれ	解体用機械	太田
3	11月 10時頃 3人・2人	20歳代 男 塗装工	既設木造住宅の屋根塗装工事において、ローラーを使って1階トタン屋根の塗装作業を行っていたところ、何らかの原因で高さ3.13mの屋根から隣家の駐車場（アスファルト舗装）に転落し、病院へ搬送されたが、2日後、脳挫傷により死亡した。	民間	墜落・転落	屋根	沼田
4	12月 16時頃 8人・8人	60歳代 男 解体工	木造平屋造りの解体工事現場において、4tトラックの荷台に積んだ廃材にロープ掛けをしようとして荷台に上がろうとしていたところ、車体脇のステップを踏み外して墜落した。病院に搬送されたが翌日の5時57分に頸椎骨折により死亡した。	民間	墜落・転落	トラック	高崎
5	12月 8時頃 22人・2人	40歳代 男 作業員	一般道の陸橋上で、凍結した路面に滑り止めの砂を撒く作業をしていたところ、反対車線からはみ出した乗用車にはねられ死亡した。	県	交通事故（道路）	乗用車	前橋

平成24年死亡災害事例（建設業以外）

（脳・心臓疾患、精神障害を除く）

平成25年3月末確定
群馬労働局

番号	災害発生日 発生時刻 労働者数	年齢 性別 職種	災害のあらまし	業種	事故の型別	起因物別	署別
1	1月 19時頃 70人	40歳代 男 運転者	出張先の学校給食用ヨーグルトを卸している事業場のストックヤード内で、同ヨーグルトを4tトラックから被災者1人で荷卸し作業中、使用していたカゴ車（300kg程度）が被災者側に倒れ、倒れてきたカゴ車のパイプに頸部を圧迫され死亡した。	一般貨物自動車運送業	崩壊・倒壊	人力運搬機	太田
2	2月 13時頃 9人	30歳代 男 作業員	東北自動車道下り線で、被災者が運転するライトバンが前方に停車していた大型トラックに追突し、炎上した。現場は片側二車線の直線道路であるが、追い越し車線を規制して中央分離帯の工事が行なわれていたため、走行車線が渋滞していた。その渋滞の最後尾に停車していた大型トラックに追突した。	その他の小売業	交通事故（道路）	乗用車	前橋
3	2月 3時頃 12人	50歳代 男 運転者	被災者は、群馬県内の事業場へ赤土を10tダンプで運搬し、再び赤土採取場へ戻るため、県道を走行中、運転操作を誤り沿道にあるコンビニエンスストアの看板柱に激突し、大動脈破裂による出血性ショックにより死亡した。	特定貨物自動車運送業	交通事故（道路）	トラック	前橋
4	2月 2時頃 43人	50歳代 男 配達員	被災者はバイクにて新聞配達中、道路を走行中に雪が凍っていて滑り、新聞が道に散乱した。それを拾っていたところに道路を走行する乗用車にはねられて死亡した。	新聞販売業	交通事故（道路）	乗用車	前橋
5	3月 13時頃 2人	60歳代 男 伐木作業員	被災者がチェーンソーを使い伐木の枝払い作業後、枝払いの終わった伐木2本を事業主が、グラブルを操作し谷側に移動させたところ、伐木の先端付近にいた被災者が伐木と共に持ち上げられ、そのまま谷側にはじき飛ばされる様な形で8m墜落した。頭部等を強打したため、意識不明であったが数日後、収容先の病院で死亡した。	その他の林業	墜落・転落	その他の動力運搬機	藤岡
6	5月 23時頃 217人(10人)	40歳代 男 作業員	工場内において金属部品の加工をドラムブラスト（表面研削機械）を用いて行っていたところ、当該機械のドラム内に入り、金属表面研削のドラム内に閉じ込められ、全身熱傷によるショック死により死亡した。	製鉄・製鋼・圧延業（派遣業）	高温・低温の物との接触	研削盤、パフ盤	太田
7	6月 6時頃 208人	30歳代 男 運転者	被災者は納品を終了して営業所に戻り、空ケースを所定の場所に下ろしトラックを駐車場所に止めるため場内を移動した。開けたままの荷台後部の扉を閉めようと一旦停車しトラックから降りたところ、止めた場所が緩やかな下り勾配だったためトラックが逸走した。止めようと運転席に乗り込もうとしたが、停車していた別のトラックに接触し、自車の運転席ドアと運転席の間に胸部を挟まれ死亡した。	その他の卸売業	はさまれ、巻き込まれ	トラック	前橋
8	7月 13時頃 10人	70歳代 男 作業員	ベンチカット工法による安山岩の採石場において、ベンチ部で発破で掘削した岩石をドラグ・ショベルで下に落としていた被災者がドラグ・ショベルとともに法面から約150m下に転落し死亡した。ベンチの幅は6.0m。	採石業	墜落・転落	地山、岩石	高崎
9	8月 14時頃 358人	60歳代 男 作業員	被災者は製造作業の二次加熱室において倒れているところを発見され、病院へ搬送されたが、9月7日脳挫傷により死亡した。状況から脚立により転落したものと推測される。	と畜業	墜落・転落	はしご等	前橋

平成24年死亡災害事例（建設業以外）

（脳・心臓疾患、精神障害を除く）

平成25年3月末確定
群馬労働局

番号	災害発生日 発生時刻 労働者数	年齢 性別 職種	災害のあらまし	業種	事故の型別	起因物別	署別
10	9月 1時頃 26人	60歳代 男 運転者	被災者の運転する大型トレーラーと対向車の大型トラックが衝突した。被災者は全身打撲により死亡。対向車の運転手は左足骨折等の重傷を負った。	一般貨物自動車運送業	交通事故（道路）	トラック	高崎
11	9月 8時頃 11人	30歳代 男 作業員	送電線下の雑草の刈り取り作業現場に向かうため乗用車に3人が同乗して、車が進入できる場所まで作業道を走行し、作業道終点で帰りにそなえ車を方向転換しようとした際、運転を誤り路肩を乗り越えてしまい、沢に転落した。3人は緊急搬送されたが後部座席の同乗者は出血性ショックのため死亡。助手席の同乗者は腰部強打、腹部出血の重傷。運転手は左腕骨折を負った。（墜落した位置から停止した法面距離：約6.1m。法面の勾配：約30度。）	その他の林業	交通事故（その他）	乗用車	沼田
12	11月 11時頃 38人	70歳代 男 配達員	新聞の集金業務のためバイクにて走行中、交差点で対向車線から右折してきた乗用車と激突し、全身を強く打ち死亡した。	新聞販売業	交通事故（道路）	乗用車	前橋
13	12月 13時頃 38人	60歳代 男 機械工	旋盤を用いて鋼棒（長さ1m）を直径30mmに切削加工作業中、上着が製品に巻きつき、頸椎圧迫により死亡。	その他の金属製品製造業	はさまれ、巻き込まれ	旋盤	前橋

平成24年 死亡災害発生状況

平成25年3月末確定
群馬労働局

業種 \ 年	22年	23年	24年	対22年比	対23年比
製造業	4 ()	4 ()	2 ()	-2 ()	-2 ()
鉱業	()	()	1 ()	1 ()	1 ()
建設業	6 ()	4 ()	5 ()	-1 ()	1 ()
交通運輸業	2 (1)	2 (1)	3 ()	1 (-1)	1 (-1)
貨物取扱業	()	()	()	()	()
林業	3 ()	1 ()	2 ()	-1 ()	1 ()
その他	5 ()	6 ()	5 ()	()	-1 ()
計	20 (1)	17 (1)	18 ()	-2 (-1)	1 (-1)

※ () の件数は、脳・心臓疾患，精神障害を内数で表す。

平成24年 重大災害事例

平成25年3月末確定

群馬労働局

番号	発生年月 発生時間帯 事業場数・(現場人数)	被災人数	災害のあらまし	災害の種類	事故の型	起因物	署別
1	2月 9時頃 1社(5人)	5人	工場で製品の脱脂を行う洗浄槽の清掃作業を5人で行っていたところ、残存していた有機溶剤(第2種有機溶剤:ジクロルメタン)を吸い込み倒れた。 なお、5人のうち、1名は役員。	工業中毒	中毒・薬傷	起因物・有害物等	藤岡
2	6月 5時頃 3社	3人	上信越自動車道下り線にて、エンジントラブルで白煙を出しながら路肩と走行車線をまたいで低速走行していたAが運転する大型トラック(最大積載量13t)にBが運転する大型トラック(最大積載量12t)が追突し、その後、後続のC運転のタンクローリー(最大積載量8t)がBのトラックに追突した。三人はいずれも長野県内に行く予定であった。	交通事故	交通事故(道路)	トラック	高崎
3	7月 12時頃 3社	3人	上信越自動車道下り線で、Aの運転する大型トラックがBの乗用車に追突し、乗用車がさらに前方のCの運転するトレーラーに衝突する玉突き事故が発生し、3台とも全焼。A運転手とB運転手の2人が死亡し、トレーラーの運転手Cは軽傷であった。	交通事故	交通事故(道路)	トラック	高崎
4	9月 8時頃 3社(7人)	3人	送電線下の雑草の刈り取り作業現場に向かうため乗用車に3人が同乗して、車が進入できるところまで作業道を走行し、作業道終点で帰りにそなえ車を方向転換しようとした際、運転を誤り路肩を乗り越えてしまい、沢に転落した。3人は緊急搬送されたが後部座席の同乗者は出血性ショックのため死亡。助手席の同乗者は腰部強打、腹部出血の重傷。運転手は左腕骨折を負った。(墜落した位置から停止した法面距離:約6.1m。法面の勾配:約30度。)	交通事故	交通事故(その他)	乗用車	沼田